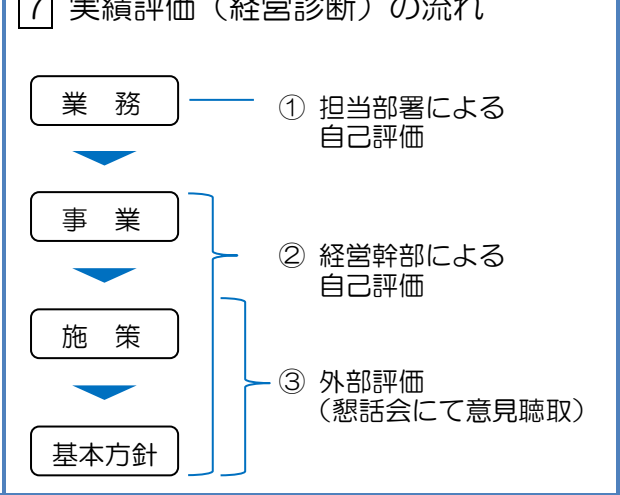
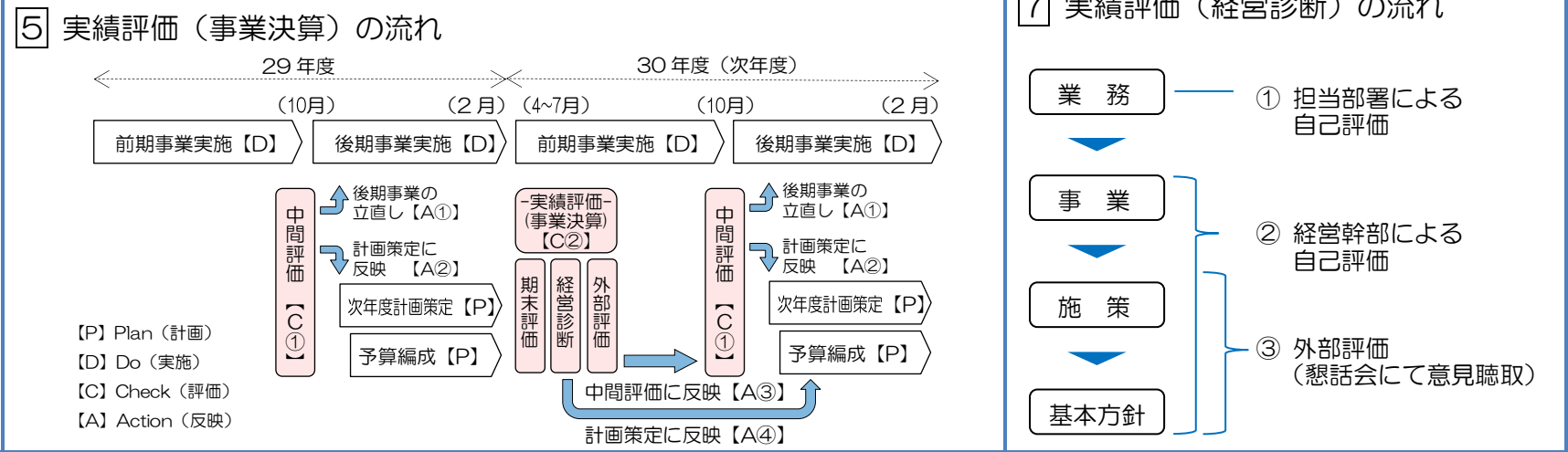
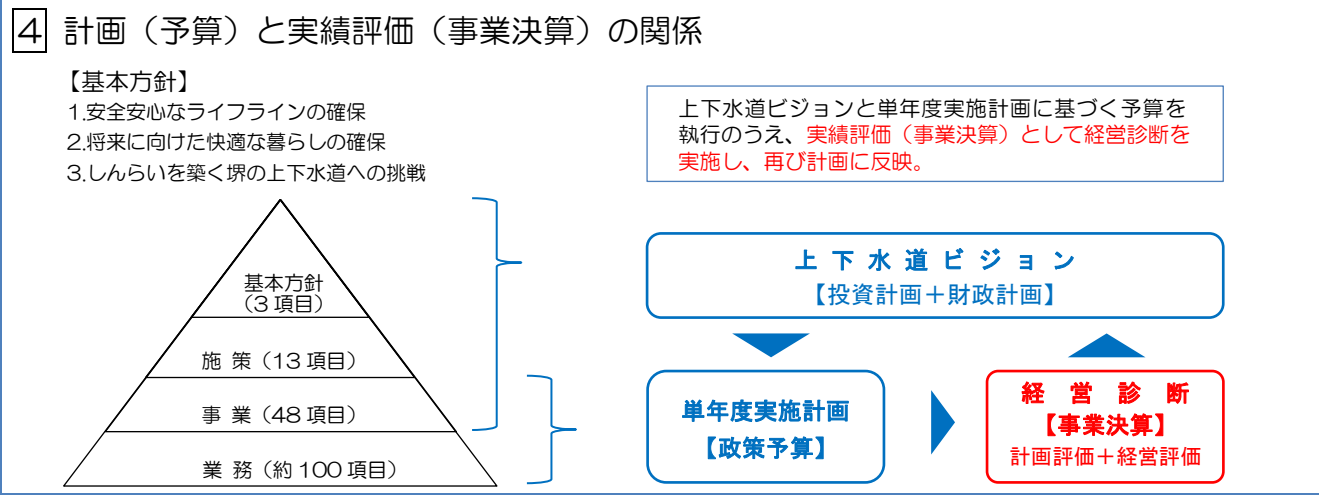
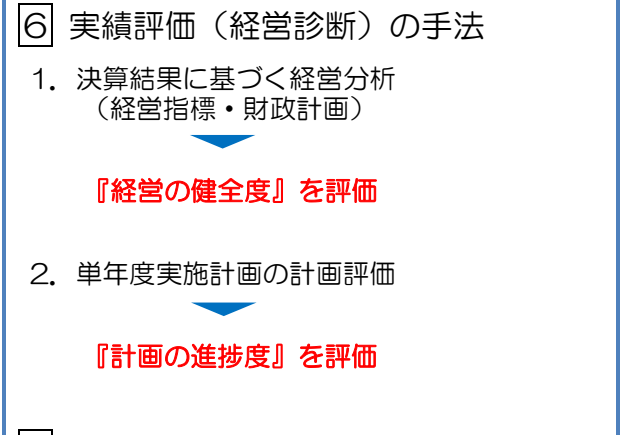
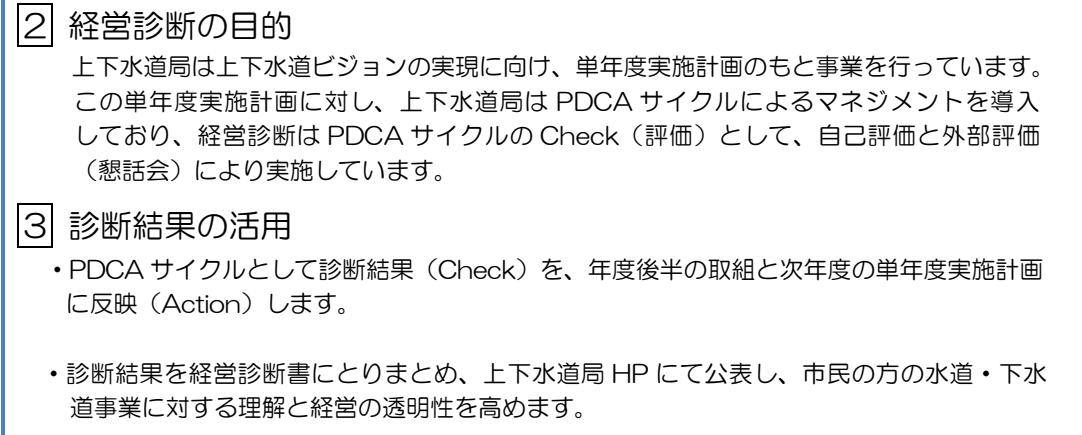
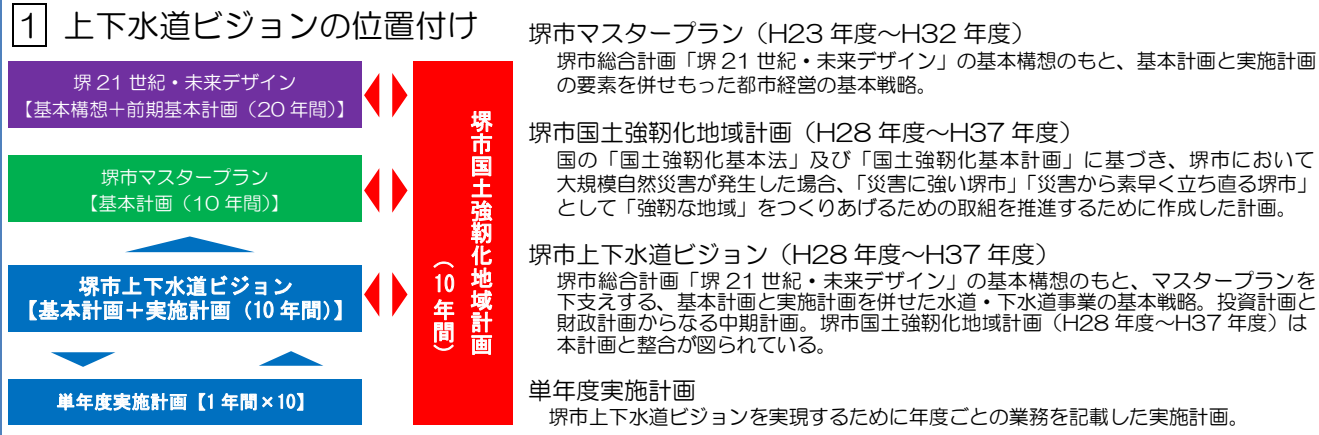


堺市上下水道事業経営診断書【概要版】

堺市上下水道ビジョン 経営管理のしくみ ～計画と実績評価～

<計画と実績評価のしくみ>



平成29年度 実績評価(事業決算)

<経営分析>

■水道事業

①収益性

| | 単位 | 望ましい方向 | 29年度 | 28年度 | 大都市平均H28 |
|--------|----|--------|-------|-------|----------|
| 経常収支比率 | % | ↑ | 109.3 | 111.5 | 116.5 |

②安定性

| | 単位 | 望ましい方向 | 29年度 | 28年度 | 大都市平均H28 |
|----------|----|--------|------|------|----------|
| 自己資本構成比率 | % | ↑ | 69.7 | 70.2 | 66.4 |

③効率性

| | 単位 | 望ましい方向 | 29年度 | 28年度 | 大都市平均H28 |
|------------|-----|--------|------|------|----------|
| 職員一人当たり給水量 | ㎥/人 | ↑ | 524 | 528 | 360 |

④料金

| | 単位 | 望ましい方向 | 29年度 | 28年度 | 大都市平均H28 |
|------|-----|--------|-------|-------|----------|
| 給水原価 | 円/㎥ | ↓ | 150.7 | 147.9 | 154.1 |

【懇話会意見】

- 有収水量が減少していることから、不明水を減らすための取組(対策・分析等)を行っていただきたい。
- 経常収支比率は100%を上回っているが、将来的に厳しくなることが予想される。
- 営業費用を削減させる方策を検討し、経営の安定を維持していただきたい。

■下水道事業

①収益性

| | 単位 | 望ましい方向 | 29年度 | 28年度 | 大都市平均H28 |
|--------|----|--------|-------|-------|----------|
| 経常収支比率 | % | ↑ | 106.3 | 107.3 | 107.3 |

②安定性

| | 単位 | 望ましい方向 | 29年度 | 28年度 | 大都市平均H28 |
|----------|----|--------|------|------|----------|
| 自己資本構成比率 | % | ↑ | 46.9 | 46.7 | 54.4 |

③効率性

| | 単位 | 望ましい方向 | 29年度 | 28年度 | 大都市平均H28 |
|-------------|----|--------|-------|-------|----------|
| 職員一人当たり処理人口 | 人 | ↑ | 5,111 | 5,292 | - |

④料金

| | 単位 | 望ましい方向 | 29年度 | 28年度 | 大都市平均H28 |
|--------|-----|--------|-------|-------|----------|
| 汚水処理原価 | 円/㎥ | ↓ | 160.9 | 161.3 | 132.5 |

【懇話会意見】

- 経営状況は改善に向かいつつあるが、引き続き厳しい状況が続いており、より一層経営改革に取り組んでいかなければならない。
- 今後、管きよの経年化率が高まることから、アセットマネジメント計画を策定し、事業費と企業債借入額の抑制に取り組んでいただきたい。

<計画評価>

1.安全安心なライフラインの確保

| 施策名 | 29年度 | 28年度 |
|----------------|------|------|
| (1) 安全で安心な水道水 | A | A |
| (2) 震災に強いまちの実現 | B | B |
| (3) 雨に強いまちの実現 | B | A |
| (4) 危機管理対策の推進 | S | A |

2.将来に向けて快適な暮らしの確保

| 施策名 | 29年度 | 28年度 |
|------------------------------------|------|------|
| (1) 里道・私道の汚水整備(衛生的に暮らせるまちの実現) | A | C |
| (2) 川や海の水環境が良好に保たれるまちの実現 | A | A |
| (3) 上下水道が安定的に機能するまちの実現(施設の維持管理と更新) | B | B |
| (4) 上下水道が安定的に機能するまちの実現(持続的な企業経営) | B | A |
| (5) 潤いと活力のあるまちの実現 | A | A |
| (6) 地球温暖化対策を推進するまちの実現(環境負荷の低減) | A | B |

3.しんらいを築く堺の上下水道への挑戦

| 施策名 | 29年度 | 28年度 |
|-----------------------|------|------|
| (1) お客さまとのパートナーシップの形成 | A | A |
| (2) 人材育成の充実・運営体制の強化 | S | S |
| (3) 先進的な取組への挑戦 | A | B |

【懇話会意見】

1.安全安心なライフラインの確保

- 「安全安心なライフラインの確保」は着実に進んでいると評価できる。
- 水道の優先耐震化路線の構築や浸水危険解消重点地区の対策工事など、一部事業の遅れを取り戻していただきたい。
- 業務の外部委託が進むなか、市民窓口機能を担う委託業者との連携を含めて評価されたい。

2.将来に向けて快適な暮らしの確保

- 「将来に向けた快適な暮らしの確保」はほぼ着実に進んでいると評価できる。
- 水道幹線管の更新(耐震化)や配水池の劣化度調査など、ビジョン期間内に事業目標を達成できるよう、取り組んでいただきたい。
- 有収率が低下傾向にあることから、不明水対策が重要である。

3.しんらいを築く堺の上下水道への挑戦

- 「しんらいを築く堺の上下水道への挑戦」は積極的に取り組まれていると評価できる。
- 水道、下水道事業の信頼を高め、運営体制を強化する事業が概ね計画どおり実施されている。

組織運営全般

- 今池水みらいセンターにおける下水道管破損事故では、事態を早い段階で抑えることができており、平常時の取り組みが活かされたものと評価したい。

凡例
S: 計画を超えて達成した A: 計画を達成した
B: 計画を概ね達成した C: 計画を達成しなかった